

經濟水道委員會

說明資料

平成28年6月22日
觀光文化交流局

2万人アンケートに係る考察

- ・ 今回のアンケートの回収率は36.5%であり、回答者の年代を見ると若年層の回答率が低かった
- ・ 名古屋城への訪問回数としては約6割の市民が3回以上訪れていた
- ・ 訪問目的としては、天守閣が一番多く、庭園、本丸御殿、シャチホコと続いた
- ・ 「天守閣整備」の進め方については約8割の市民が認知しており、「新聞・テレビ」を通じて知った市民が多かった
- ・ 「天守閣整備に対する課題」や「民間業者からの技術提案の内容理解」など名古屋城天守閣の整備についての理解は、「どちらかという理解できた」を含めると7割以上の市民が理解できたと回答している
- ・ 名古屋城天守閣の整備の考え方については、「2020年7月にとらわれず木造復元を行う」が40.6%と最も高く、「現天守閣の耐震改修工事を行う」が26.3%、「2020年7月までに優秀提案による木造復元を行う」が21.5%と続いた
- ・ 木造復元を行うと答えた市民は「2020年7月までに優秀提案による木造復元を行う」と「2020年7月にとらわれず木造復元を行う」を合わせると60%を超えた
- ・ 「2020年7月までに優秀提案による木造復元を行う」について理解を示さなかった市民は無回答を除き70%を超えた
- ・ 名古屋城天守閣の整備の考え方について、「その他」の自由記載としては、わからないという主旨の記載が最も多く、他の工法も含めて検討、現状維持などの記載が続いた
- ・ 名古屋城の魅力向上に向けた強化項目としては、天守閣が一番多く、本丸御殿、庭園、金シャチ横丁と続いた

注 下線部は今回追加した部分